

INFORMATION FROM POPOLA KASUKABE

POPOLA ぽぽらだより

TAKE FREE

ご自由にお取りください

まちのことを、はじめる場所。

「ぽぽらだより」は、春日部市市民活動センター（ぽぽら春日部）が発行するまちづくりや市民活動を広めるためのフリーペーパー（広報誌）です。ぽぽら春日部は、まちの課題に取り組み、市民の暮らしに新たな価値を生む公益的な活動を応援する施設です。地域のための活動をしている人、始めたい人がつながっていく場所でもあります。皆様のご利用をお待ちしています。

発行元 春日部市市民活動センター
(指定管理者：(株)コンベンションリンケージ)
年4回発行

2022. 冬号
vol. 45

やっと会えたね。

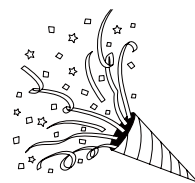
#ぽぽらフェスティバル開催速報！
#これからの自治会運営を考える

(写真：ぽぽらフェスティバルでの施設中庭の様子)

本誌に関するご質問・お問い合わせはこちらから

☎ 048-731-3550

✉ popola@kasukabehall.jp



ぽぽらフェスティバル 2022 開幕

今年も開催します！

12月3日(土)4日(日)より、いよいよ『ぽぽらフェスティバル2022～人と人がつながる、持続可能な地域社会』がスタートしました(2023年3月5日(日)まで開催)。今年は3年ぶりにスタンプラリーも復活し、小さなお子さまから大人までたくさんの笑顔をぽぽら春日部で見ることができました。当日の様子を写真を中心に伝えたいと思います！

ご来場

ありがとうございました！



交流



4階中央の交流・ミーティングスペースでは、卓上カーリングゲーム「カーレット」が設置され、たくさんの方が興味津々に初プレイを楽しんでいました。

活動紹介
パフォーマンス



3階環境ギャラリーで「マジックショー」や「南京玉簾」がお披露目された他、他のフロアでは各団体が日々の活動を紹介したり、実際に体験してもらったりしました！

パネル展示



展示の前に説明員が立てることになった今年は、パネルの前でいろいろな会話が生まれていました。展示内容は定期的に入れ替わりますので、今後も要チェックです！

いろんな活動があるんだねー



「ありがとう」でつながるフェスティバル



ぽぽらフェスティバルの魅力
新井さんに突撃取材！

ぽぽらフェスティバル2022 実行委員会
新井恵美さん(春日部おやこ劇場)

—今年のぽぽらフェスティバルがスタートしました

はい。実行委員の皆さんの努力もあって、今年はコロナ前のイベントの形に近づけることができました。

—ぽぽらフェスティバルの魅力は何ですか？

実行委員はもちろん、当日の受付やお手伝いにもたくさんの方が関わってくれました。半日でも何か一緒に取り組めたことで、「ありがとう」と声をかけやすくなると思います。そういったつながりから次のステップが生まれたことがこれまでもたくさんありました。

—皆さんにメッセージをお願いします

長年の活動から「やらねばならぬ」と自分を縛るのではなく、参加を通じていろいろな人とつながりながら、自分で「楽しい」と思うことを大切にしましょう！

交流
イベント

ホウコク

市民活動団体交流会

ガチャトーク！



フェスティバルで賑わう3日と4日の午後に活動団体の交流会「ガチャトーク」を開催しました。テーブル中央に用意されたのはダンボールで作られた「カプセルトイ」。カプセルの中身はお菓子とトークテーマが書かれた紙。参加者は少しドキドキしながらレバーを回しました。

「あなたにとっての市民活動」「今つながりたい団体は？」といった質問から「春日部のおすすめグルメ」や「もしもサントラなら団体に何をプレゼントする？」といった面白テーマもあり、皆が和やかにひと時の会話を楽しみました。

コロナ禍で交流を制限された時間があまりにも長かったため、こういった場が本当に大切だったと改めて感じる機会となりました。



ACTIVITY INTERVIEW

カーレット春日部

誰でも楽しめるバリアフリースポーツ

“卓上のカーリング”とも呼ばれるカーレット競技をご存知ですか？「カーレット春日部」は、2021年12月に代表の遠藤久美さんがNPO法人カーレットジャパン協会理事長の田邊陽二さんに出会ったことをきっかけに立ち上がった市民活動団体だ。

当時、遠藤さんはレクリエーションインストラクターの資格取得のための実習先を探しており、コロナ禍で興味を持ったのがカーレットだった。田邊さんによると、カーレットは昔遊びのおはじきからヒントを得て、「卓上でカーリングができないか？」という試行錯誤から生まれたそうだ。石の大きさからレーンの素材まで、競技を完成させるまでに100円ショップに通い

詰めた時間はトータルで100時間以上。誰でもどこでも楽しくできるバリアフリースポーツとして、競技人口は全国に広がっている。

春日部での立ち上げが決まってから、遠藤さんは必死に仲間を探し、さまざまな巡り合いを経て、現在は仲間とともに月2回の活動を行っている。そんな遠藤さんは、知人に背中を押されて「ぽぽらフェスティバル2022」の実行委員としても活動中。当日団体として初めて参加した「カーレット体験会」では子どもから高齢者までたくさんの来場者が競技を体験。一日目を終えて「明日も肩の力を抜いて皆さんの皆さまと仲良くなれますように」と話す晴れやかな笑顔が印象的だ。



カーレット春日部
【連絡先】 090-4756-6605
4153tkyk@com.zaq.ne.jp

変わり始めた、これからの自治会運営

役員の高齢化、会員の減少、担い手の不足、事務局の負担等、課題ばかりの現状に未来はあるのか？
市民活動センターではこれからの自治会のあり方について皆さんと一緒に考えます



相談

ジムキョクラブ（相談座談会）

交流

持続可能か？

市民活動・地域活動

10月から12月にかけて、地域コミュニティの要である「自治会活動の担い手」をメインテーマに相談座談会を開催しました。ぽぽら春日部がある富士見町会の自治会長さん等の役員の方々と、現状の問題と今後試せるアイデアについて意見を交わしました。

『会長になりたいきさつ』『実際にどれくらいの時間を割いているか』『どんな仕事が大変なのか』等を聞いてみると、きっかけは祭りや防災訓練等で自治会の方から声をかけられたという方も数名いて、やはり地域のイベントは次につながるコミュニケーションの場なのだという事を再確認しました。

社会構造やライフスタイルの変化により、数十年前に取り組みされていたような自治会活動の継続は難しくなっている、というのが参加者共通の認識でした。各地域の自治会によって状況は異なりますが、当日出たアイデアを含め座談会のまとめをホームページに掲載しますので、そちらをぜひご覧ください。



協働

協働の企画

ホウコク

セミナー

自治会長と話す、

地域団体運営の「負担軽減」

11月30日にぽぽら春日部で、春日部市自治会連合会の役員研修会が開催されました。当日は市民活動団体の参加者も交え、オンラインで四日市市日永地区の梅が丘自治会の先進事例を聞きました。春日部の自治会運営の現状と課題について活発な意見交換が行われました。詳しい内容を知りたい方はセンター窓口までお問い合わせください。



セミナー

市民活動講座

ホウコク

広報

「かんたん動画作成講座」開催



10月15日（土）ぽぽら春日部で、Microsoft フォト（ビデオエディター）を使った動画講座を開催しました。

実際にスマホで動画を撮影して、パソコンに取り込み、編集して、書き出すまでを講座の中で実践。動画づくりを通して自団体の魅力を振り返ってみるのも良いですね！動画づくりのご相談は、下記にお問い合わせください。

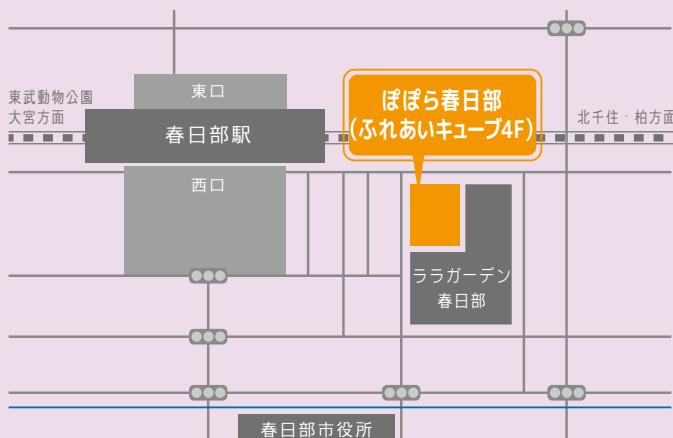


新規登録団体情報

オシラセ

新規に登録された団体さんをご紹介します。センターにはたくさんの市民活動団体が登録されています。団体同士の交流やマッチングを希望される方はいつでもセンター窓口にお問い合わせください。

- Community for Z-Line
- キッズマネースクール ホープ校（順不同）



※東武スカイツリーライン/アーバンパークライン「春日部駅」下車。西口徒歩5分。
※駐車場（有料）は数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。

イベント・セミナーのお申し込み・お問い合わせはこちらから

048-731-3550

popola@kasukabehall.jp

春日部市市民活動センター（ぽぽら春日部）

年中無休（年末年始を除く） 9:00～21:30

TEL 048-731-3550 FAX 048-734-1605

〒344-8578 埼玉県春日部市南 1-1-7 ふれあいキューブ 4 階

HP



※当施設の会議室を利用するには、「団体登録」が必要となります。登録には窓口でのヒアリング及び登録申請書、団体の規約、名簿、活動実績等の資料の提出が必要となります。詳しくは上記窓口にお問い合わせください。

※交流・ミーティングスペース、キッズスペースなどは、団体登録なしにどなたでも自由にご利用いただけます。

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から一部利用を制限している場合があります。